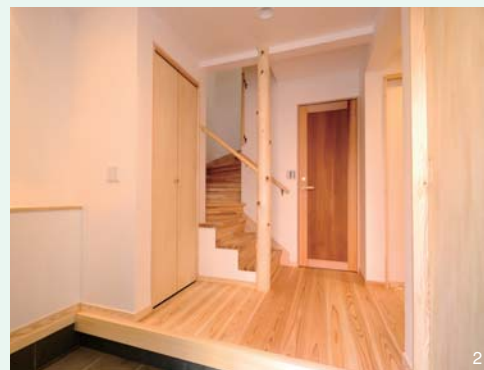


吉野杉の魅力を感じて木の家

天の木ネット 杉本の家
／大阪府大阪市



- 1 子ども室は、間仕切りを開放すると2室がつながるように設計。ルーフトラスに面したサッシから光と風を取り入れる。
- 2 木の家の心地よさを伝える玄関。木目の美しい杉材を採用。壁は四国産の和紙を使用している。
- 3 オープンなキッチンは、天板にクルミ材を採用。コンロ前はタイル張りのおしゃれな仕上げに。
- 4 のびやかに広がるLDK。無垢のクリ材の床にはガス温水床暖房「ヌック」を採用。壁は、調湿性能に優れた漆喰で仕上げている。
- 5 畳コーナーにはパソコンスペースとして使える棚を造作。美しい木目を生かした天井や遊び心のある飾り窓がアクセントに。

MESSAGE



馬場ハウス工業株式会社

常務取締役

馬場 雅樹さま

天川村森林組合の方や製材会社の方にご協力いただき、乾燥や製材の過程から厳選した素材を使って住まいづくりをご提案しています。家づくりの仲間である建築士や建具製作の方、職人の方など各分野のプロに信頼しておまかせすることで、いいものに仕上げるのだと思います。木の家は、素材のあたたかさや空気の質が全く違い、本来、人が暮らす空間とはこうあるべきだと実感します。気持ちよく暮らしていただける木の家を、もっと多くの方にご提案していくために、今後もますます企業努力をしていくつもりです。

天の木ネット 杉本の家

設計／明月社
施工／馬場ハウス工業株式会社
竣工／2010年2月

馬場ハウス工業株式会社
tel.06-6697-0088
http://www.baba-house.com/

天川村の吉野杉を使ったプロジェクト 素材を厳選したモデルハウスが完成

やさしい肌触りや美しい木目、すがすがしい香りが心地いい天然木の家。優れた調湿性や健康面への配慮などからも人気が高い。大阪市住吉区を拠点とした工務店・馬場ハウス工業では、そうした無垢材など自然素材のよさを生かした家づくりに取り組んでいる。同社は約2年前、奈良県・天川村の吉野杉を使った家を提案する「天の木ネット」を、森林組合や設計士らと共同で設立。「さまざまな産地の木材を使い比べていく中で、構造材としての強度、内装材としての美しさが優れていました」と常務取締役の馬場氏。今年2月に、木の家をよさを実際に体感してもらうためのモデルハウス「天の木ネット 杉本の家」を完成させた。

モデルハウスは、住宅地の一角に建つモダンな印象の3階建。玄関の引き戸を開けると、木の香りとともにぬくもりのある木肌が迎え入れてくれる。2階には木の質感を生かしたLDKが広がり、一段上げた畳コーナーが空間に変化を与えている。足触りのいい無垢材は、ガス温水床暖房「ヌック」の温かさと相まって心地いい。木製のキッチンカウンター、窓枠や階段の手摺など、細部にまで木のよさを感じるしつらいが施されている。3階は、主寝室と間仕切りを閉められる2室の子ども部屋。屋上にはルーフトラスを設けて、隣家が迫る立地でも十分な採光・通風が得られるように配慮している。

「適材適所」の素材選びと、 確かな職人の腕にこだわった家づくり

馬場ハウス工業が大切にしているのは、国産材を使いながらも、一般的な家族が無理なく購入できる家であることだ。今回のモデルハウスでは、住まいの顔となる玄関には節目のない美しい材を、居室には節がある比較的安価な材を使用。また、家具を置くLDKには、堅く床暖房にも適した高級材のクリを、水まわりには低コストかつ水に強いパーチを使うなど、素材の特性を踏まえた上で、コストを掛ける箇所と抑える箇所のメリハリをつけている。一方、無垢材は傷や汚れが付きやすく、材により反りや歪みが生じる場合がある。それらはあらかじめ施主に説明し、納得された場合にのみ採用している。

また、一つひとつに癖のある自然素材を扱うには施工技術も必要となるため、素材の質と同様に熟練した職人の腕にもこだわっている。設計や建具製作など、各分野のプロへ信頼して一任するのも馬場ハウス工業のやり方だ。工業化された家より施工は1カ月ほど長かかるというが、効率重視ではない本物志向の家づくりがそこにはある。

「自然素材の家は決して高価でも特別なものではなく、こんなに気持ちのいい空間であることを、もっと多くの人に知ってほしいと思います」と馬場氏。今回のモデルハウスを皮切りに、さらなる展開も考えているようだ。